リアルタイム事務事業評価調書①【会議資料】

令和　6　年　7　月　12　日　作成

事業名	市報発行事業					
担当部署	部	政策経営部	課	広報プロモーション課	係	広報係

A）基本情報

基本施策	行財政運営									
分野別施策	行財政　－　３　協働、情報共有【重要施策】									
	－									
展開方向	□　市民参加と協働の推進									
	☑　市と市民との情報共有の推進									
	□　０									
予算科目	会計	一般	款	２	項	１	目	３	事業番号	１
事業名称	広報プロモーション活動費							継続・新規	継続して実施している事業	

B）事業概要・事業目的

事業の概要・目的	市政情報を市民に提供するため、毎月１日と１５日に市報を発行する。魅力と親しみのある市報を目指し、文字に頼らず、図や写真の活用やクロスメディアとして、QRコードを掲載のうえ、ホームページとリンクすることなどにより、限られたスペースの中で、より読みやすく、わかりやすい内容を目指して編集を行っている。

C）過去の実績（事業の実績を示す数値　又は　事業の目標としたものの結果）※市民意識調査の結果は不可です。

	実績の説明	単位	令和3	令和4	令和5
①	市報宅配件数（新聞非購読者世帯　１号あたり）	件	5,409	5,526	5,698
②	新聞折込部数（１号あたり）	部	22,000	22,000	20,000
③	全体の発行部数（１号あたり・年度末時点）	部	29,500	29,500	28,000
④	全体経費（印刷経費、折込経費、配布経費、配置経費、声の広報発行経費　等）	円	18,696,599	19,873,734	22,238,268
⑤					
	数値として出せる実績はない（下記に理由を記入↓）				

実績を出せない理由	

D）昨年度（令和5年度）における事業の課題や反省点

①	読みたくなる市報を目指したデザインの一新（冊子化、構成、横書き、発行回数等）
②	市報と市報以外の広報物の統合検討
③	市報の全戸配布の検討
④	
⑤	

E）令和6年度の事務の進め方（予定含む）※なるべく時系列に沿って記入してください。

①	４～8月　①デザイン等アドバイザー（小林氏）の支援を得ながら新市報案作成及び庁内調整
②	②市報と市報以外の広報物の統合の検討（①と一体で動く）
③	③市報全戸配布の検討（費用等確認）
④	※上記①～③を一体として費用対効果等を確認しながら検討を行う。
⑤	９月　①～③の内容決定及び令和７年度当初予算計上に向けた仕様書等作成
⑥	10月　令和７年度当初予算要求
⑦	11～12月　新市報の具体的な紙面構成・デザイン等の検討・作成
⑧	1月～　各課へ新市報の原稿作成等の手続きについての説明
⑨	※令和７年4月までは旧年度予算の市報発行のため、5月１日号から新市報発行の予定
⑩	
⑪	
⑫	

F）令和6年度中に目指す目標・状態

※「○○意識を高める」、「理解を深める」等といった成果が不明確な目標ではなく、できるかぎり効果が数値化できる目標にしてください。

①新市報を決定する。
②市報と市報以外の広報物を統合を検討し、方向性を決定する。
③市報の全戸配布について、費用対効果等を検討し、方向性を決定する。

G）当該会議で聞きたいこと

※ある場合のみ記入してください。詳細は会議で説明してください。

①	現状の市報のデザインに関する評価や新市報の具体的なデザイン等に関する提案や意見（冊子化、構成、横書き、発行回数等）
②	市報と市報以外の広報物の統合について、事業課としての意向。また、統合・一本化する場合のページ構成などの提案や意見。
③	市報全戸配布のニーズや必要性などに関する意見。
④	
⑤	

H）評価会議での意見・助言等

①	市報に掲載する情報は、内容を精査した上で発信媒体を選択してはどうか（例：対象年齢層が若い場合、ＳＮＳのみで周知等）
②	読みやすい市報のため、デザインのプロによる助言またはデザイン専門者の導入を検討してはどうか
③	各部から職員を募り、市報のあり方、他の発行物との統合に向けて検討組織を作っても良いのではないか
④	
⑤	

リアルタイム事務事業評価調書②【実績報告・分析】

令和　7　年　3　月　31　日 作成

事業名	市報発行事業					
担当部署	部	政策経営部	課	広報プロモーション課	係	広報係

A）リアタイ評価会議後に対応したこと・参考としたこと

市報以外の広報物との統合の検討、全戸配布の検討

B）R6年度の実績（事業の実績を示す数値又は事業の目標としたものの結果）

	実績の説明	単位	目標値	R6実績値	【参考】R5実績値
①	市報宅配件数（新聞非購読者世帯　1号あたり）	件	6,000	5,848	5,698
②	新聞折込部数（1号あたり）	部	20,000	20,000	20,000
③	全体の発行部数（1号あたり・年度末時点）	部	28,000	28,000	28,000
④	全体経費（印刷経費、折込経費、配布経費、配置経費、声の広報発行経費　等）	円	27,366,000	21,003,829	22,238,268
⑤					

□ 数値として出せる実績が得られなかった（下記にその理由と当初の目標と代替する目標を記載してください）

理由　及び 代替する目標	
R6実績は 去年と比べて	☑ 向上した　□ 例年通り　□ 低下した　□ その他
左記とした理由　又は　分析等（向上・低下した要因等）：市報戸別配送希望者の増	

C）分析（令和6年度の実績を踏まえて）　↓　該当するものに○をつけてください　↓

①この事業の**有効性**は ニーズとコスパ、執行体制、手法として最適か　等	○	高い		普通		低い
①の理由：市報戸別配送希望者が増加しており、市民からの需要の高さが窺える事業である。						
②この事業における**市民協働・市民協創**の余地は ※市民協働、市民協創については別紙参照。		多くの余地がある	○	余地がある		余地がない
②の説明：市民記者等、市民の立場での記事の執筆等協力体制が取れる部分がある。						
③この事業が今後**民間活力**等を活用する余地について		多くの余地がある		余地がある	○	余地がない
③の説明：事業の目的上、市役所のみで行うことが望ましいため。						
④この事業が今後類似事業と**統合・再構築**できるか ※類似事業がある場合のみ回答		可能である	○	検討の余地がある		不可能である
④の説明：市で発行している他の広報紙と統合できるものがある。						
⑤**近隣市の類似事業と比較して**充実している事業か ※近隣市に類似する事業がある場合のみ回答		他市より 充実している	○	他市と同程度		他市の方が充実
⑤の説明：市報発行、デザイン等他市と同程度である。						
⑥**東大和市独自の個性**を出している事業か		市の特長、個性を 出せる事業である	○	他市と同程度 個性はない		
⑥の説明：今後デザイン等でオリジナルな要素を加えられる事業である。						

リアルタイム事務事業評価調書③【課題・今後の方向性、事業コスト】

A）来年度以降の課題や見直すべき点　※事業の実施を経て、反省・見直しすべきだと思ったことを記入してください。

①	紙面デザインのリニューアルを検討
②	紙面の記事の精査（対象に合わせた表記やSNSとの連携等）
③	配布範囲の見直し
④	他の発行物との統合
⑤	

B）来年（令和7年度）の取組予定　※事務予定または、改善事項を記入してください。

①	令和8年1月号からの市報リニューアルに向けたデザイン等作成
②	市報リニューアルについての広報
③	庁内各課への市報原稿作成・提出についての周知
④	全戸配布の手続準備
⑤	他の発行物との統合についての調整

C）上記Bの取組にあたって必要な調整・準備事務等　※記入日時点で必要と考えられる準備事務について記入。

①	令和8年1月号からの市報編集委託契約に向けた仕様書作成
②	令和8年1月からの市報全戸配布委託契約に向けた仕様書作成
③	令和8年1月以降統合する発行物を発行する課との調整
④	
⑤	

事業コスト　（　7　年　3　月　31　日 時点　）

予算科目	会計	一般	款	2	事業番号	1	事業名称	広報プロモーション活動費
			項	1				
			目	3				

R6予算額及び決算額　※会計年度任用職員に係る経費（報酬等）は記入不要です。　単位：円

R6予算額		R6決算額(暫定)		【参考】R5決算額	
事業費合計	27,366,000	事業費合計	21,003,829	事業費合計	
積算根拠		積算根拠		積算根拠	
10 需用費	10,892,000	10 需用費	8,161,450		
12 委託費	16,364,000	12 委託費	12,702,037		
13 使用料及び賃借料	110,000	13 使用料及び賃借料	140,342		
財源内訳		財源内訳		財源内訳	
一般	27,366,000	一般	21,118,099	一般	0
国	0	国	0	国	0
都	0	都	0	都	0
市債	0	市債	0	市債	0
その他	0	その他	0	その他	0